

都道府県	施設名	第2期研修 1月26日(月) ～3月20日(金)	備考	研修の特徴（任意）
01北海道	北海道がんセンター	○		薬剤師外来あり。薬薬連携の勉強会も定期的開催しています。
01北海道	旭川医科大学病院	△	・一部の研修項目が実施できない可能性がある。 下記書類の提出が必要です。 ・流行性ウイルス疾患の抗体保有証明 ・薬剤師賠償責任保険への加入を示す書類	
01北海道	北海道大学病院	○	・受け入れは1名のみ。	
01北海道	市立函館病院	○		
01北海道	社会医療法人製鉄記念室蘭病院	○		
01北海道	社会医療法人 恵佑会札幌病院	○		領域別の担当薬剤師が入院外来通して患者に対応している。
01北海道	函館五稜郭病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部として正式に参画し、コーディネーター育成に力を入れている。
01北海道	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	○		
02青森	弘前大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
03岩手	岩手医科大学附属病院	○	・麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体価の提出をお願い致します。抗体が無い場合は一部実習を制限する可能性があります。	
04宮城	国立病院機構 仙台医療センター	○		移植が多く、積極的に薬剤師が介入している。また、薬剤師外来を導入し、診療に寄与している。がんセンターボードや緩和ケアチームにも参加し 研修していただきます。保険調剤薬局との連携研修にも参加していただきます。
04宮城	東北医科薬科大学病院	○		大学病院であり幅広いがん種に関わることが可能。
05秋田	秋田大学医学部附属病院	○		
05秋田	JA秋田厚生連由利組合総合病院	○		外来化学療法患者の指導と連携に力を入れており、多職種でのフォローアップ体制を構築している。
06山形	山形県立中央病院	○		
07福島	一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	○		がん薬物療法におけるPBPMや薬剤師外来、医療用アプリを用いた患者モニタリングが可能。
08茨城	筑波大学附属病院	○		ファーマシーステーションを病棟活動の拠点とし、チーム医療の推進に寄与しています。
08茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院	○		薬剤師外来や治験、手術見学など病棟研修以外の研修も充実している。
08茨城	茨城県立中央病院	○		
08茨城	総合病院 土浦協同病院	○		
08茨城	小山記念病院	○		
10群馬	群馬大学医学部附属病院	○		
10群馬	群馬県立がんセンター	○		チーム医療を重視し、他職種の講義や見学を多数取り入れ、チーム医療を担う薬剤師としてより優れた医療を提供できるよう研修を行っている。
12千葉	国立がん研究センター東病院	○		
12千葉	千葉県がんセンター	○		●がん薬物療法中央管理に深く関与し、経口・注射共にレジメン整合性保持や支持療法の共通化を図っている。 ●注射がん薬物療法の処方鑑査・疑義照会を均一のレベルで効率良く行う体制が出来ている。 ●ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部が参画している。
13神奈川	神奈川県立がんセンター	○		ゲノム医療に薬剤師が参画している。
13神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	○		
14東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	○		診療科単位で専任薬剤師を配置し、診療科との密な連携を基に薬剤管理指導を実施している。
14東京	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	○		
14東京	日本大学医学部附属板橋病院	○		臓器横断的な研修と薬剤師外来の実践。
14東京	国立病院機構 東京医療センター	○		
14東京	日本医科大学多摩永山病院	○		外来診察の同席など、医師とのディスカッションを中心に臨床経験が積める。
14東京	日本赤十字社医療センター	○		多発性骨髄腫の患者が多い
15山梨	山梨大学医学部附属病院	○		山梨県内で随一のがん症例を持ち、入院外来問わず多領域のがん種について研修を提供可能。
17長野	信州大学医学部附属病院	○		
17長野	地方独立行政法人長野市民病院	○		
17長野	JA長野厚生連北信総合病院	○		外来化学療法患者に対して診察前面談を行い、薬物療法体制充実加算を算定している。PBPMによるB型肝炎再活性化スクリーニング検査、irAEのスクリーニング検査を行い薬剤師によるモニタリングを強化している。
18富山	富山大学附属病院	○		
18富山	富山労災病院	○	・血液がんについては、医師不足により現在入院・外来共に治療は行っておりません。担当薬剤師からの講義のみの研修となります。	
21静岡	静岡県立静岡がんセンター	○		
22岐阜	岐阜大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
22岐阜	大垣市民病院	○		これまで15名の研修生を受け入れ、臨床研究などの指導も可能。
22岐阜	中部国際医療センター	○		がんゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤師も参加している。外来化学療法の全例に薬剤師が介入している。各種チーム活動への参加もできます。
23愛知	藤田医科大学病院	○	・研修にあたり、麻疹、風疹、水痘、ムンプス、HBs抗体の検査結果および必要に応じてワクチン接種が必要。研修期間中の発熱時には、インフルエンザおよびCovid感染の有無の確認。陽性の場合は当院職員と同様に休みの対応。	多種多様な診療科を擁しているため、様々な癌腫の対応が可能。

23愛知	名古屋大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
23愛知	一宮市立市民病院	○		化学療法センターの薬剤師前面談を全患者で実施。
23愛知	知多半島総合医療センター	○		
24三重	三重大学医学部附属病院	○		化学療法レジメン審査委員会は薬剤部が運営（委員長は薬剤部長）。小児がん拠点病院で適応外使用を含めたレジメン審査を研修可能。がんゲノム医療拠点病院であり、エキスパートパネルへ参加可能。Tumor Board、緩和ケアセミナーなど多職種による研修会へ参加可能。医師の診察前に行う「薬剤師外来」の研修可能（がん薬物療法体制充実加算を算定）。
24三重	伊勢赤十字病院	○		薬剤師外来（診察前面談）、外来化学療法室ラウンドを実施している。
25滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	○	下記の検査結果の提出が必要 ・胸部X線検査結果(研修開始の日からさかのぼって、1年以内のもの) ・結核罹患歴の有無。 ・インターフェロンγ遊離試験（IGRA）検査（研修終了の日からさかのぼって2年以内のもので、T-SPOT法又はQFT検査に限る。結果が陽性の場合は、専門医療機関を受診のうえ、診断書を提出するものとする。） ・麻疹（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・風疹（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・水痘（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・流行性耳下腺炎（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・B型肝炎ワクチンの接種又はHBs抗体（CLIA法）が陽性（10.0以上）の確認。ただし、B型肝炎ワクチンの1シリーズ目接種の終了後の抗体検査において抗体価が陰性の場合は、2シリーズ目の当該ワクチン接種に努めるものとする。	レジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から登録・管理を行っている。
25滋賀	彦根市立病院	○		
26京都	京都大学医学部附属病院	○		調製監査システムを用いた抗がん薬調製業務、PBPMを取り入れた外来化学療法指導 がん薬物療法体制充実加算（診察前面談）の実施、大学病院としての他診療科との連携。
26京都	京都桂病院	○		
27兵庫	神戸大学医学部附属病院	○	実務実習生実務実習生受入期間と重なっており、研修生の対応が難しい場合あり ・研修開始日の1ヶ月前までに「実習・研修願書」、「誓約書」、「ワクチン接種または抗体保有証明書」、「健康診断書」、「免許証（写）」、「薬剤師賠償責任保険証書（写）」の提出が必要です。 ・抗体価について、当院の抗体価要件（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、HB）を満たさない場合は臨床実習できません。 ・研修期間中、新型コロナウイルス感染症の発症、ウイルス陽性、疑わしき症状がある場合には一定期間来院できません。	・希少がんを含むあらゆるがん種の薬物療法について研鑽を積むことができる。 ・薬剤師が院内での副作用およびレジメン管理に主体的に関与している。 ・地域連携にも積極的に取り組んでいる。
27兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	○		抗がん剤調製ではロボットを導入、またPBPMによりICI検査やB型肝炎のチェックをおこなっている。10月から部門システム変更に伴い監査業務の効率化に取り組んでいる。
29和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	○		
29和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	○	・研修は同一県内の薬剤師を優先します。 ・研修開始前に各種感染症の抗体検査結果の提出が必要です。	
30大阪	大阪大学医学部附属病院	○		
30大阪	大阪国際がんセンター	○		がん専門病院のため、多岐に渡るがん種についての研修が可能であり、がんにおける専門性を高めることが出来る。
30大阪	大阪公立大学医学部附属病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルに可能な限り薬剤部が参加している。
30大阪	大阪医科薬科大学病院	○	・受け入れに際して、本院指定の感染症証明書の事前提出による申請・承認が必要。 ・新型コロナワクチンについて、接種なしの場合は特に母子領域・小児領域の実習に際しては抗原検査を実施。 ・研修前に本院HPに掲載している事前課題「医療安全」「感染対策」を実施すること。	チーム医療の実施、抗がん剤調製ロボット使用。
30大阪	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	○		
30大阪	淀川キリスト教病院	○		他学会からの研修も受け入れています。そのため施設間の情報共有が容易に行うことが可能です。研修内容については実務に合わせた研修内容とさせていただきます。
30大阪	関西電力病院	○		病棟を含め、多職種間の連携が盛んな施設です。昨年より薬剤師外来を開始し、化学療法室で勤務する薬剤師を増員することで、安全かつ安心ながん化学療法の体制を強化しています。
30大阪	国立病院機構 大阪医療センター	○		
30大阪	社会医療法人大阪国際メディカル＆サイエンスセンター 大阪けいさつ病院	○		薬剤師外来を開設しており、入院から外来まで継続して薬学的管理を行っています。また、緩和ケアチームやプレストケアチームなどのチーム医療の一員として、他職種と協働しています。
30大阪	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	○		多職種で編成されたがん薬物療法サポートチームがあり、診療科横断的な薬学的介入に取り組んでいる。
31鳥取	鳥取大学医学部附属病院	○		薬剤師外来へ積極的に取り組んでいる。

32島根	島根大学医学部附属病院	○		抗がん薬曝露防止対策の一環として、原則、すべての抗がん薬の調製に閉鎖式接続器具を用いている。レジメン管理に深く関与しており、専門性の高い薬剤師の視点からレジメン審査を行うなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
33岡山	倉敷中央病院	○		オンコロジーボードでは原発不明癌、重複癌などで対応困難な症例、神経内分泌腫瘍などの希少がんなどの症例を多職種で検討しています。
33岡山	岡山市立市民病院	○		
34広島	広島大学病院	○		広島大学病院薬剤部は、外来がん化学療法患者に対する連携文書提供や入退院センターを通じた薬薬連携などに取り組んでいます。また、「がんゲノム医療拠点病院」であり、薬剤師は、治療候補となる臨床試験・治験についての調査やエキスパートパネルへの参加を通じてがんゲノム医療へ関わっております。
34広島	JA広島総合病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部として正式に参画している。
35徳島	徳島赤十字病院	○		能動的にがん薬物療法にかかわることができる薬剤師を養成するため、薬剤師外来での活動を中心に研修プログラムを設定している。
36香川	香川県立中央病院	○		
37愛媛	愛媛大学医学部附属病院	○		
37愛媛	愛媛県立中央病院	○		
38高知	高知大学医学部附属病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルやキャンサーボードにも参加可能であり、適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
39山口	国立病院機構 山口宇部医療センター	△	・診療科の特性上、扱う疾患にかなり偏りがあります。（呼吸器科メイン、乳癌患者・消化器癌患者は1名医師が在籍しているが、症例数にかなり限りがあります。）上記を踏まえたうえで希望する研修生のみ受け入れ可としています。	
40福岡	九州大学病院	○		
40福岡	久留米大学病院	○		大学病院ならではの多種多様ながん種を学ぶことが可能。
40福岡	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院	○	・研修生は1名受け入れ可能です。（2名以上の研修生は対応困難）	当院はタスクシフト/シェアの観点から薬剤師外来、PBPMを積極的に取り組んでいます。
41佐賀	佐賀大学医学部附属病院	○	・研修開始前に健康診断書および各種感染症の抗体検査結果等の提出が必要です。 ・研修にあたり、病院と研修者の間で「研修契約書」を交わす必要があります。 ・当院感染対策では、当院の職員と同様の行動規制を遵守することを強く要請します。	がんゲノム医療連携病院に指定されており、エキスパートパネルに参加可能です。
41佐賀	佐賀県医療センター好生館	○		
42長崎	長崎大学病院	○		各種診療科の協力のもと、様々な癌腫の治療に関する研修講義を行い、また、抗がん剤 治療だけでなく、各種がん治療の見学を取り入れた研修を行っている。がん診療センターと連携し、適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
43大分	大分大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる
43大分	中津市立中津市民病院	○	・ワクチンの抗体価などを研修前に提出をお願いしております。	2024年8月付けでゲノム医療連携病院の指定を受け、2025年にはロボット支援手術を開始し、さらに高い水準のがん医療を提供する地域の中での中核的な病院です。レジメン管理や化学療法委員会事務局を薬剤科が主導で行っています。また、薬剤部門以外に、他職種などを交えた研修での講義等を行うことで、チームや地域内での薬剤師の役割を実践しながら学ぶことができます。
44熊本	熊本市立熊本市民病院	○		
45宮崎	宮崎大学医学部附属病院	○	・麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎については、「抗体検査・ワクチン接種履歴確認表」を提出することが望ましい	当院では薬剤師が支持療法も含めたレジメンを作成しており、レジメン審査・登録・管理を薬剤師主体で実施し、がん薬物療法において、薬剤師が重要な責任を担っている。研修ではその点も学ぶことができる。
46鹿児島	鹿児島大学病院	○	・病院が定めている研修受け入れ要項に則った対応	がん領域において薬剤師外来を設置し、レジメン管理や適応外使用への対応にも積極的に関与することで、チーム医療の充実を図っています。
46鹿児島	公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院	○		多様ながんに対する治療を行っており、多くの治療薬についてレジメン管理・調製から投与までの過程・副作用マネジメントなど投与後の管理を学修することができます。より安全に効果的な治療を行うための多職種(保険薬局も含む)による連携を体験することができます。
46鹿児島	鹿児島厚生連病院	○		内服抗がん薬を含むすべての抗がん薬の処方鑑査、調剤、指導を実施しています。
46鹿児島	鹿児島市立病院	○		
46鹿児島	今村総合病院	○		
46鹿児島	霧島市立医師会医療センター	○		地方におけるがん医療について広く学ぶことができます。
47沖縄	琉球大学病院	○	・4疾患のワクチン2回接種	